

競技上および審判上の注意事項
平成27年 第35回 四区親善少年野球大会

本大会は2015年「公認野球規則」及び同年の「競技者必携」の規程を適用する。但し下記規定を優先する。

1. ベンチは組合せ番号の若いチームを一塁側とする。先攻・後攻はジャンケンで決める。
2. 試合は7回戦（高学年）とし、90分を過ぎたら新しいイニングに入らない。（但し時間は東京都軟連の解釈に従う）
3. 参加資格は高学年を6年生以下、低学年は4年生以下の支部に登録された単独チームとする。なお補強は認めない。不正出場その他規則違反に対しては連盟規程により処理する。
4. 7回終了時または制限時間を過ぎて同点の場合は、正式試合を打ち切り、特別方式を適用して試合を続行する。特別方式は無死満塁、継続打順とし決勝戦を除き2イニングまで行う。勝敗がつかない場合は抽選によって勝敗を決する。決勝戦は勝敗が決するまで特別方式を繰り返す。
5. コールドゲームは4回終了時10点差、5回終了時以降7点差、及び降雨、日没により5回以降試合継続不可能となった時とする。正式試合の成立は4回終了時とする。
6. 投手は変化球を投げることを禁止する。ペナルティーは「競技者必携」を参照する。
7. 用具については打者、走者、次打者、ベースコーチは両側にイヤーフラップのあるヘルメットを着用。捕手は捕手用ミット、マスク、ヘルメット、レガース、ファールカップ（男子）を必ず着用する事。木製以外のバットはJ.S.B.B.のマークの入ったものを使用する事。
8. ボークは1回目から適用する。
9. 抗議のできるものは監督及び当該プレーヤーとする。但し、判定についての抗議は認めない。
10. 相手チーム、選手へのヤジや品位のない行為は認めない。
11. 試合開始予定時刻30分前に大会本部にメンバー表4枚を提出し、検印を受ける。試合開始予定時刻に集合しないチームは棄権扱いとする。
12. タイムの回数は守備、攻撃、監督のタイムは1試合各3回までとする。特別方式の延長については2イニングに1回とする。但し選手交代の為のタイムは含まれない。グラウンドに入れるのはユニホームを着た監督、コーチだけとする。
13. 背番号は選手0～27（主将は10）の20名以内と監督30、コーチ28、29、で男女を問わない。
14. ベンチ入りは登録された監督、コーチ2名、スコアラー、代表者、引率責任者の大人6名以内と登録された選手だけとする。
15. グランドルールは担当区の審判長の指示に従う。
16. 青少年の健全育成活動の一つとして、ベンチ内、グラウンド周辺のゴミの処理、持ち帰りを指導してください。
17. 試合中及び球場への往復の事故については主催者側は一切責任を持ちませんのでご注意の上参加ください。

低学年の部 注意事項

1. 試合は5回戦とし、80分を過ぎたら新しいイニングに入らない。3回終了時10点差、4回以降7点差、及び降雨、日没により継続不可能となった時とする、正式試合の成立は3回終了時とする。
2. 塁間及び本投間は次の通りとする。塁間21m、本投間14m
3. ボークは取らず注意とする。ボークによって攻撃側が不利な判定を受けた場合はそれを取り除く。